

資料集 多摩の講 —市町村史誌掲載の講と頼母子講—

目 次

はじめに	6
南多摩地域	8
1. 八王子市	8
(1) 貸付、伊勢講	8
(2) 無尽講：藤沢大学講元惣益融通積金主法書 文政9年（1826）	9
(3) 八王子永昌講	10
(4) 現存する講組織	10
2. 町田市	14
(1) 講中・組合単位で行う講、頼母子講	14
(2) 講集団と民権家たち（新井勝絃 解説）	16
(3) 明治中・後期金融と市場	19
3. 日野市	20
(1) 信仰と講	20
(2) 富士講と道普請	21
(3) 無尽・質屋・その他：屋根葺替儀定名簿、共立社	21
(4) 信用販売購買利用組合の起り	23
4. 多摩市	23
(1) 文政2年（1819） 封金講連名帳	23
(2) 無尽覚 1827	23
(3) 寺建立講 他	24
(4) 嘉永7年（1854）八月 相続講加入者名簿	25
(5) 伊勢講連名帳、御嶽山護摩講連中名前、	26
(6) 元治元年（1864） 百姓相続講掛金取立帳 子十一月	26
(7) 地縁組織、講、親族組織、講中、講集団	27

(8) 参詣講と寺社参詣	27
(9) 下田学校資本金拾会講方法	28
(10) 講集団と講行事	28
5. 稲城市	29
(1) 講と人々	29
(2) 家無尽人足帳、相続講、崩れ整理、御用貸付金拝借	30
(3) 報成社、永代講	31
西多摩地域	32
6. 青梅市	32
(1) 民間信仰、頼母子講	32
(2) 助合金割合	33
(3) 安政五年四月 伊勢講仲間にて加入の山内道具頼母子講につき 連印一札	33
(4) 無尽会社、銀行	34
7. 福生市	34
(1) 富士講停止の旨触書 嘉永 2 年 9 月 (1849)	34
(2) 福生の講	34
8. 羽村市	36
(1) 講の楽しみ	36
(2) 産業組合の発展	36
(3) 産業組合以前	37
9. あきる野市 (旧秋川市、五日市町)	38
(1) 頼母子講 : 寛文 6 年 (1666)3 月 無尽受取につき手形	38
(2) 質屋、頼母子講、資金	38
(3) 講集団	38
10. 瑞穂町	39
(1) 信仰、無尽	39
11. 日の出町	40
(1) 村社会、御師と代参講	40

12. 奥多摩町	41
(1) 五拾人講、頼母子講	41
(2) 茅無尽、扶助金取立帳	42
(3) 明治 13 年 1 月 貢租諸掛無尽懸控簿	42
(4) 産業組合の沿革	42
13. 檜原村	43
(1) 萱無尽	43
北多摩地域	43
14. 立川市	43
(1) 天保期の立川村の貯穀櫃	44
(2) 農民結合単位	44
15. 武蔵野市	44
(1) 村の社会的構成	44
(2) 人間関係	45
(3) 無尽給付金借用・預り証文	45
(4) 富士一山講社規則・連名控簿	46
16. 三鷹市	49
(1) 先覚者・大原幽学と二宮尊徳	49
17. 府中市	50
(1) 明治 15 年不人情な平尾の講元	50
(2) 鶴之宮神社講と無尽	50
18. 昭島市	51
(1) 村落組織	51
19. 調布市	53
20. 小金井市	53
(1) 農間渡世	53
(2) 村の金融	55
21. 小平市	56
(1) 文貧民救合力	56

(2) 講の現在	57
(3) 無尽関連トラブル	58
(4) 斎藤家の金融事業と玉川銀行の経営	58
22. 東村山市	58
(1) 家普請、質屋渡世、水車仲間	58
(2) 賴母子講掛金取立帳、催合掛金請取帳、連名帳、稻荷講金	59
(3) 家族の展開、講	60
23. 国分寺市	61
24. 国立市	61
(1) 村・家と講	61
25. 狛江市	62
(1) 払えない掛金を債務に処理、無尽講掛金覚	62
(2) 武州一宮代々御神楽拾人講連名覚帳	63
(3) 賴母子講掛金請取帳	63
(4) 村内互助組織・賀母子	65
26. 東大和市	67
(1) くらしと信仰	67
(2) 講 覚 (タイトルなし) 1856	67
27. 清瀬市	67
(1) 稲荷講、戸隠講、御岳講	67
28. 東久留米市	69
(1) 東久留米の民俗：クミ・クミアイ、講・講中	69
(2) 講行事	70
29. 武蔵村山市	70
(1) 五人組とゆい、日待と講	70
(2) 村のなりわいと融通——農村金融の諸相	71
(3) 農村金融の展開：無尽講、指田日記、祠堂金の貸付け	72
30. 西東京市（旧田無市、保谷市）	76
(1) 天明元年（1781） 井戸講金預証文帳（武州多摩郡新町村） ...	76

(2) 水車稼、百味講	76
(3) 村の運営と互助	77
(4) さまざまな講にみる人のつながり	77
文献リスト	79